

子供の安全
女性の安心
そして
実戦危機管理

安心安全

International safe safety society

協会報

平成28年初夏号
(2016)
第4巻第2号
発行
(内閣府認証 府国生第947号)
特定非営利活動法人
国際安心安全協会
編集発行人
藪崎 英源
〒160-0023 東京都新宿区
西新宿3-17-7 西新宿TOKビル
Tel. 03-5371-0456
ホームページ
http://www.iss-anshin.jp



上野・御徒町のパトロール隊は、JR御徒町駅前から高架駅の側道、買い物客などで賑わう松坂屋上野店や吉池、都営大江戸線・御徒町駅などの周辺、上野広小路からさらに最近では外国人や観光客が非常に多くみられる荒井進氏(防災設備の株式会社エコーソリューション社長)、そしてNPO法人愛とポイント協会の高橋明代表などが中心になって結成されました。この中心メンバー同様に御徒町

上野・アメ横や駅周辺を巡回

上野・御徒町のパトロール隊は、JR御徒町駅前から高架駅の側道、買い物客などで賑わう松坂屋上野店や吉池、都営大江戸線・御徒町駅などの周辺、上野広小路からさらに最近では外国人や観光客が非常に多くみられる荒井進氏(防災設備の株式会社エコーソリューション社長)、そしてNPO法人愛とポイント協会の高橋明代表などが中心になって結成されました。この中心メンバー同様に御徒町

今年の早春号で安心安全パトロール隊が開始したばかりの熊本で4月、ご存知のように連続的に地震が発生、大きな被害が出ました。当協会では直後に担当者を派遣。被災当事者にもなっているメンバーとも連携しながら、被災地の不安を払拭するための防犯活動や、その対策・調査、復旧へのさまざまな救援・支援の活動に取り組んでいます(2面)。
また、都内では上野・御徒町で、安心安全パトロールが始まりました。本号ではさらに佐伯理事長によるロータリークラブにおける講演活動や藪崎専務理事による留学生講習などの報告もします(2・3面)。

御徒町でパトロール開始! 被災熊本では不安払拭に向け

安心安全ホットライン

当協会では、「子供の安全・女性の安心」つまり、身の回りのさまざまな安心安全対策、そして「実戦的危機管理」つまり、職場や地域社会におけるリスクマネジメント、防犯・安全確保などに関して、警察OB等、経験豊かな会員・指導員がアドバイス、支援を行っています。
まず、ご相談ください。

安心安全ホットライン
e-mail: isa@celery.ocn.ne.jp
Tel: 03-5371-0456
Fax: 03-3375-3301

許すな! 被災地のモラルの液状化

連続する地震によって大きな被害を受けた熊本では、最初の地震発生翌日の4月15日から、当協会のスタッフ(石井洋一ボランティア担当部長と光永栄治氏の2名)が現地入り(熊本市玉名市、山鹿市など)。

この度の熊本県を中心とする一連の地震によって、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様にも心よりお見舞い申し上げます。
また、被災者の救済・支援と被災地の復興のために尽力されている方々に深く敬意を表します。
当協会としても、被災地の不安が少しでも拭えればと、地震発生直後から、担当スタッフらが現地に赴いて、防犯や調査啓蒙及び復旧支援の活動を行っております。
今後も、現地のメンバーや地元のみならず協力しながら、防犯・治安への不安や懸念が払拭できるよう活動を続けてまいります。
皆様の安全と被災地の一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

国際安心安全協理事長 佐伯英隆

熊本地震被害へのお見舞い

すでに安心安全パトロール隊を結成して活動を続けている神奈川県川崎市に当協会支部が結成されました。

神奈川・川崎支部発足

すでに安心安全パトロール隊を結成して活動を続けている神奈川県川崎市に当協会支部が結成されました。

国際安心安全協会

当協会は、安心安全な生活・環境は、それを求める一人一人の取り組みと、同じ志をもつ人びとの連携、ネットワークがなければ実現しないとの考えにもとづき、自ら防犯・安全対策に取り組むとともに、安心安全を追求する国内外の人びととの交流と相互支援を進め、家庭、地域社会、ビジネスの世界など、あらゆるシーンで安心安全を実現することを目的に活動しているNPO法人です。
みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

- ### 役員一覧
- 最高顧問 東久邇 信彦
 - 顧問 毛利 就慶
 - 顧問 大村 昭人
元帝京大学医学部長
 - 顧問 神 洋明
弁護士(光和総合法律事務所)
元日弁連副会長 前第一東京弁護士会会長
 - 顧問 早乙女 立雄
元NTTインターナショナル取締役
元共立建設常務取締役
 - 顧問 渡邊 省蔵
元千代田スバック株式会社社長
元トルコ三井銀行株式会社
 - 顧問 朝賀 昭
元内閣総理大臣秘書
 - 顧問 榎本 哲也
弁護士(エクセル国際法律事務所)

- 会長 池田 勉
元警察庁・平和相互銀行副社長
元太平洋クラブ社長
- 理事長 佐伯 英隆
京都大学名誉フェロー、元通商産業省
元島根県警察本部長
- 専務理事 藪崎 英源
R&C総合研究所CEO、元警視庁
- 常務理事 西山 暢一
元警視庁・滝野川・世田谷警察署長・
上海領事
- 常務理事 立石 照雄
元警視庁・第二機動隊隊長・公安三課
課長・四谷警察署署長
- 理事 児玉 皓雄
理学博士、元電子技術総合研究所所長
元先進財総合研究所会長

- 理事 飛岡 健
現代人間科学研究所所長
未来予測塾塾長
- 理事 小野 千賀子(大阪支部長)
ピアニスト
元東京音楽大学校友会本部長
- 理事 荒牧 知子
公認会計士
国立研究開発法人審議会委員
- 理事 波多野 容子
ハタノシステム取締役会長
世界の子供たちを護る会会長
- 理事 服部 政雄(愛知支部長)
元愛知県警交通部長・防犯部長
総務部長
- 理事 猪又 勝(新潟支部長)
元新潟県警新潟東署長・生安部長
- 監事 木村 茂雄
税理士、元東京国税局

RCの派遣留学生に「危機管理」講習

藪崎専務理事

ロータリークラブが毎年世界に派遣している交換留学生に対する「危機管理」セミナーにおいて、当協会の藪崎英源専務理事が、指導、講習を行いました。

5月15日(日)、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた国際ロータリー第2750地区(都の南半分と多摩地区など)の「青少年交換学生」制度によって派遣される高校生を対象とした研修プログラム。今年8月から1年間、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、ベルギー、フランス、インドの7カ国に派遣される高校生計10人に対する研修でした。さまざまな研修科目があるなかで、海外生活でまず最も注意しなければならぬ「自分の身を守る」という「危機管理」のセミナーに協力して行ったものです。

藪崎専務理事は、海外留学における「安心安全」対策として、「郷に入れば郷の常識が通じるわけではない世界では、情報もしっかりと収集して、その「違い」を認識し、お互いに認め合いながらも、自らの責任で「自己管理」「危機管理」を行うことの重要性を強調。そしてドラッグなども含めて「危険」には近づかないこと。海外に飛び立ったときの初心を忘れないで、安心安全の自己管理をしっかり実践指導しました。腕や体を

危険に近づかないことが一番ですが、それでも万一、襲われた場合、「どのよう」に逃げるか」の方法を実践指導しました。腕や体を



写真はこれから留学する高校生に逃げ方の実践指導をしている田中さん

地域コミュニティの安心・安全—協会の活動

佐伯理事長 講演内容

当協会・佐伯英隆理事長がロータリークラブで連続

に行った講演内容を紹介します。以下はさる1月19日、東京恵比寿RCで行われた講演などの抄録です。



理事の藪崎英源氏が、地域コミュニティを安全に保つメカニズムはないかと、元副総理の故後藤藤田正晴さんなどにも相談し、当初は警察OBを中心とする任意組織として発足。その後、各方面のさまざまな方から賛同を得て、NPO法人として活動しています。

われわれは子供の安全、女性の安心をテーマに、地域コミュニティの安全に貢献する地道なボランティア活動をしております。「安心安全パトロール」は各地で

り行うこと。その心構えなどについて述べ、ホームステイ先の家族を含め、よりよい友人知人をつくること重要な「安心安全対策」になるということも強調しました。

この講義のあと、簡単な護身術の実践指導も行いました。担当したのは、前号で報告した当協会監修の防護身DVD「子供でも逃げられる、ほんの少しの知識を身につける」を制作した「日子流技術」の田中光四郎さんです。

危険に近づかないことが一番ですが、それでも万一、襲われた場合、「どのよう」に逃げるか」の方法を実践指導しました。腕や体を

隊を編成、実施されています。パトロールをスムーズに行うために安心安全ベストを着用します。ベストには「ユニフォーム効果」があり、使命感や連帯感、さらに「言葉かけの勇氣」も湧いてきます。子供、未成年者が危険、違法に近いことをしているときには「危ないよ」「止めなさい」と言うべきですが、言い出せない人も、ユニフォーム効果で言えるようになる。言われる側も、何となく公共性や公平さを感じることで無用のトラブル

移住・外国人労働者の受け入れ、共存は？

最近のトピックとして外国人移民と地域コミュニティの問題に触れます。ヨーロッパはいま難民問題で揺れています。わが国では外国人労働者、移民の受け入れ問題が議論になっています。

すでに多くの地域で外国人居住者が増えています。これは今後も変わらない大きな流れだろうと思います。われわれは3年半前にヨーロッパで地域コミュニティの実態調査を行いました。自分たちと異なる宗教、文化、習慣、常識を持つ

つらびとが入ってくる地域コミュニティはどのように対応すればいいのか。ヨーロッパの移民大国の一つ、スウェーデンでは中央警察幹部が自国の失敗を例に「日本が移民を受け入れるのであれば、キーワードは分散です。移民は集中させては絶対駄目。そういう政策誘導を最初からプランニングしてやるべき」と強調していました。「外国人タウン」治外法権的な無法律地域をつくるのはならないこととです。

移民受け入れの賛否いずれの立場にしても、移民希望者に「あなた、日本人になりたいんですか、日本が好きで来たんですか」と聞くことさえはばかれる現状は、余りにもナイーブな

女性の安心」全国大会in愛知「特集号」発行。

同年9月 福岡市において安心安全パトロール隊編成。

福岡県筑前町で安心安全パトロール隊編成。

名古屋支部の有志メンバーが一宮市と犬山市を安心安全パトロール。

同年10月 協力団体のNPO法人環境工学研究所メンバーが常総市の被災地(9月、台風18号)による豪雨で被害の1カ月後を視察、パトロール「安心安全パトロール隊」編成・実施要領を改訂。

協会報「安心安全」平成27年秋号発行。

山口県支部設立(山口県周南市)。

同年12月 熊本市において安心安全パトロール隊編成(並木坂下ハウス隊)。

防犯護身DVD監修。本部で東京消防庁のAED・救命講習。

平成28(2016)年1月 佐伯英隆理事長が東京恵比寿ロータリークラブの例会で講演(RCの「卓話」)。

協会報「安心安全」平成28年春号発行。

同年2月 佐伯理事長、東京渋谷ロータリークラブで「子ども」の安全、女性の安心」講演。

同年3月 佐伯理事長、西南ロータリークラブで「協会の活動と地域コミュニティの安心安全」講演。

同年4月 熊本地震発生。協会ボランティア担当部長ら派遣支援活動。

同年5月 上野・御徒町でパトロール隊編成、活動開始。神奈川県・川崎支部発足。藪崎英源専務理事が国際ロータリー第2750地区の交換留学生に対してリスクマネジメント講習。



安心安全 ステッカー

仕組み、安心安全なコミュニケーションを築く方策を共に考えたり、伝えたり、実践をしていく役割です。

当協会はボランティアと賛同者により支えられています。組織はまだ発展途上で、脆弱です。皆様のいっそうのご理解とご支援をいただければ幸いです。

当協会では、「子供の安全・女性の安心」のシンボルマークとコピー入りの協会ステッカーを平成20年4月に作成。より多くの皆さんに私たちの活動が理解され、伝えられることを願って活用しています。

「安心安全」の旗 さらさら高く掲げて

神奈川県・川崎支部発足

本紙1面で報告している通り、この度、川崎支部（神奈川県川崎市）が発足しました。

支部長は、安心安全パトロールの隊長としてすでに活動をしている横田正弘・横田道場館長です。

横田支部長は長年、川崎市高津区の道場などで子供たちに空手を指導する一方、青少年育成連合会の会長として、イジメや犯罪から子供たちを守る活動を続けています。

そして本紙（平成27年年初号）で紹介した通り、武道仲間有志を中心にす



【川崎支部】

- 横田正弘（支部長）
- 森 明夫（副支部長）
- 新井正徳（青年部長）
- 川上勝規（事務局局長）
- 岡本行央、日野勝広
- 岡 茂、山本利夫
- 斉藤正弘、石塚光則

に「安心安全」の旗の下にパトロール隊を編成し、東急・田園都市線・宮崎台駅周辺や、近くの学校、公園、通学路などを巡回し、親御さんや子供たちへの注意喚起や呼びかけ、指導を行っています。

川崎では昨年2月、川崎区の高津川河川敷で中1男子生徒殺害事件が発生。少年3名が殺人容疑で逮捕されました。区は違っているも青少年指導をしている支部のみならずには衝撃的な事件でした。このような悲劇を繰り返さないためにも一層、「安心安全」の旗を高く掲げて、巡回活動や子供たちへの注意喚起、指導に、力を入れて取り組んでいます。

一度と悲劇は…

川崎支部副支部長に就任した森明夫氏は、松濤館流空手の拳心会森道場（高津区小母口）の館長。長年にわたり横田支部長と共に青少年育成連合会でシンナー撲滅運動やイジメ対策に取り組みしてきました。空手の

凄まじい試割り（20枚重ねの瓦をジャンプして脳天からの頭突きで粉砕する）でも知られています（日米メディアが紹介）。

川崎では昨年2月、川崎区の高津川河川敷で中1男子生徒殺害事件が発生。少年3名が殺人容疑で逮捕されました。区は違っているも青少年指導をしている支部のみならずには衝撃的な事件でした。このような悲劇を繰り返さないためにも一層、「安心安全」の旗を高く掲げて、巡回活動や子供たちへの注意喚起、指導に、力を入れて取り組んでいます。

「安心安全パトロール隊」編成・実施要領

NPO 法人国際安心安全協会

1 安心安全パトロールの目的

私たちは安心安全なまちづくりのために「自分たちのまちを自分たちで守ろう」との自主防犯意識をもって、地域の人々とともに、ボランティアとして、自主的に、無理なく、できる範囲で、パトロールを実施していきます。

2 パトロール隊の立ち上げ

①メンバーを集める。
・地域、職場、諸団体などでパトロールに参加できる人を募ります（年齢性別問わず。未成年者がパトロールをする際は必ず複数の成人が加わる）。
②責任者・まとめ役（リーダー）などを決める。
・責任者・まとめ役には、原則として当協会会員が提携協力団体会員がなり、本部（支部）に報告して、「安心安全ベスト」の支給などを受けます（パトロールの立ち上げ後の入会や提携でも可）。
③パトロール隊の名称を決める。
・当協会の「安心安全パトロール隊」として活動しますが、名称（愛称）や計画などは独自に決めます（支部所属の場合、支部との調整も）。

3 パトロール計画

①目的・重点目標などを確認し共通認識のもとに計画を策定する。
②実施区域（コース）、時間帯などを決める。
・1回1時間程度で歩いて回れる範囲に（小学校の学区などが一つの目安）。
・メンバーが増えたら複数のパトロール隊（グループ）に編成し、活動区域、回数などを増やします。

4 パトロール隊の編成

①原則として2人以上、できれば3〜5人ぐらいを1チーム（グループ、班）として編成する。
②個々のチームのリーダーやメンバーの役割（写真・記録担当など）も決めておく。

5 パトロール隊の服装・準備

①身軽で活動的、そして目立つ服装で行うこと。
・靴はスニーカーなど（被災地では安全靴なども）。
・当協会ベストの配布を受けている場合必ず着用（ない場合は目立つ格好で腕章、タスキなど）。
②持ちもの（携行するもの）を用意。
・携帯電話（スマホ）1110番やメンバー間連絡メモ・筆記具・危険箇所、不審人物などをメモ。

6 パトロールの実施

①原則徒歩で行う。交通事故には十分気を付ける。
②出会った人には積極的に「声かけ・あいさつ」をして、パトロール中であることをアピールする。
③夜間パトロールでは、拍子木を鳴らして、パトロールをしていることを周囲に知らせる。
④犯罪、不審者などを目撃したら、すぐ1110番！
⑤事故や不審者・車両、放置自転車、危険箇所など、気づいた点があればメモや撮影。
⑥終了後、日誌に「日時」「天候」「参加者」「コース」「記入者」「結果（不審者・車両の有無、気づいた点、今後の注意点）」などを記入。

7 記録と検討

①「パトロール日誌」は、次回からの注意喚起、今後のパトロール計画の検討材料などにしていく。
②日誌の記録は当協会報などへの報告の基礎データにもする。課題は協会全体で共有（警察への連絡、情報交換の基礎データにも）。
③定期的なパトロールの効果を検証。実施コース・時間の見直し、追加なども行っていく。

8 メンバーの心得

①無理せず、継続できる範囲で活動。
②メンバー自身が法規、ルールをしっかり守り、全員の安全を十分に配慮しながら取り組む。
③パトロールで知った他人のプライバシーは漏らさない（撮影や写真の扱いにも十分注意）。
④まちの変化にいつも注意を払い、気づいた点はパトロールにも活かす。
重要なことは、自分たちのまち・コミュニティの安心安全は自ら守る、みんなが安心安全に暮らせるまち・地域社会にしていく——というメンバー一人ひとりの決意と心構えである。

安心安全ネットワーク

国際安心安全協会・本部支部一覧

- 本部**
〒160-0023
東京都新宿区西新宿3-17-7 西新宿TOKビル
TEL: 03-5371-0456
- 愛知県支部（服部政雄理事・支部長）**
〒468-0044
名古屋市天白区笹原町701番地
TEL: 052-896-1425
- 新潟県支部（猪又勝理事・支部長）**
〒950-0944
新潟市中央区愛宕1-4-7
TEL: 025-280-0887
- 大阪支部（小野千賀子理事・支部長）**
〒540-0012
大阪市中央区谷町1丁目3番12号 天満橋リーブル6F
TEL: 06-6947-7670

- 東京支部（藤田進一支部長）**
〒140-0011
品川区東大井5-14-16 糸日谷ビル402
TEL: 03-5769-0535
- 山口県支部（宇都宮陽一支部長）**
〒745-0816
周南市遠石3-5-26-2B
TEL: 0834-33-9824
- 川崎支部（横田正弘支部長）**
〒213-0027
神奈川県川崎市高津区野川3796-2
TEL & FAX: 044-777-7389
- 南米支部**
アルゼンチン国ブエノスアイレス市
リハバダビア街4509番2階36室
TEL & FAX: 5411-4983-8766 (8492)

提携・協力団体

- 特定非営利活動法人 ヒューマニティー
- 特定非営利活動法人 マナ・アテンド・サービス
- 特定非営利活動法人 全国マンハンド・ネットワーク
- 特定非営利活動法人 中部日本プロアマ振興会
- 特定非営利活動法人 愛のポイント協会
- 特定非営利活動法人 東京都マザーズライフサポートセンター（寺子屋FIT）
- 特定非営利活動法人 環境工学研究所
- 特定非営利活動法人 トレフルクラブ
- 特定非営利活動法人 サクラエフ奉仕団